

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	農林水産 課	庶務・林業振興 係	事務事業No.	16122
事務事業名	農業総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 2
施策目標	地域間交流の促進				
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画	都市と農村の交流	47 頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	①中綱湖へら鮒釣り大会を通じ、釣り客をはじめ多くの方々へ大町市をPRし、グリーン・ツーリズム事業の振興を図る。 ②農業体験を伴う修学旅行の需要が高まり、国営公園を拠点とした農家民宿事業に取り組んだ。
-------	--

事業の目的	①グリーン・ツーリズム事業を推進し、地域の活性化を図る。 ②受け入れ農家の生きがい、副収入にもつながる。また、市内宿泊施設の利用も増えて経済効果も見込まれる。
-------	--

事業内容	①中綱湖へら鮒釣り大会実行委員会へ負担金40万円を支出し、大会の開催援助をしている。 ②受け入れ農家の保健所申請手数料23,000円の半額を補助している。 ③国の『子ども農山漁村交流による地域活性化モデル事業』を受託し、受け入れ側の体制整備として『信濃大町農家民泊協議会』を発足させた。
------	---

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費(決算額)	1,552 千円	1,456 千円	1,371 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	694 千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,552 千円	1,456 千円	677 千円

		平成24度	平成25度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
活動指標	① 釣り大会開催	回	1	1	1	100.0%	1	
	② 農家民宿開業数	軒	-	8	11	30	36.7%	30
	③							

1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
成果指標	① 参加者数	人	100	84	90	100	90.0%	100
	② 農家民宿受入数(延べ数)	人	-	63	176	500	35.2%	500
	③							
2. 数値で表せない効果		(指標 )						

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	高い	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	2	2	3	3	2	2
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)				
	拡大 評価点合計 14 / 18	子どもたちの利用が多い上原温水路のトイレの管理は市民へのサービスにつながっている。釣り大会は、市観光振興の大きな要素である仁科三湖をPRする事業であり14回目の開催であるが、参加人数は年々減少しており、参加者増を図るため観光課等と連携したPRを行う取組みを進めたい。 平成25年度から、国営公園を起点とした都市部の修学旅行生(農業体験を伴う教育旅行)を受け入れるため、常盤地区を中心とした農家民泊事業を開始しているが、受け入れ希望が年々多くなり、農家民宿の数が不足しているのが現状である。農家の方々の活力向上、地域産業の活性化に寄与することから、受け入れ側の体制整備を充実させ継続的な運営が必要と考える。				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16131				
事務事業名	農業振興一般経費			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1	目	3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換								
後期計画掲載頁	58		頁		個別計画			頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	大町で生産されたものを大町で消費する地産地消を市民に広く普及啓発することにより、生産者と消費者との交流を図り、地元食材の消費拡大を推進する。								
事業の目的	消費者に地元食材に対する強い安心感を与え、観光事業や外食事業に積極的に地場産品を取り扱うよう働きかける。それには地産地消を推進して、地域の農林水産業を活性化させ、地域の活力を増進させる取り組みを目指す。								
事業内容	地産地消事業実行委員会主催事業 ・「ぐるっとそば処スタンプラリー」 ・「大町の食材を楽しむ会」（昨年度は神城断層地震の発生があり中止を判断した）								
事業費	年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	総事業費（決算額）		345千円		332千円		234千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		345千円		332千円		234千円			
活動指標	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	達成率	目標値
	①	スタンプラリー	回	1	1	1	1	100.0%	1
	②	食材を楽しむ会	回	1	1	中止	1	0%	1
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	スタンプラリー参加者	人	431	415	396	500	79.2%	400
	②	食材を楽しむ会参加者	人	69	56	中止	60	0%	60
	2. 数値で表せない効果		（指標）						
※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等									

評価	項目	必要性		有効性		効率性		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	点数	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である	
		2	2	2	3	2	3	
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）						
	継続	○そば処スタンプラリーは県内外から好評をいただいている、そば処大町のPRになっており継続して取り組みたい。 ○食材を楽しむ会については平成18年度から実施（昨年度は神城断層地震が発生し中止）しているが、毎回実行委員会で検討しながら趣向をかえて実施している。今後も今までのスタイルにこだわらず地域食材の情報発信に有効なイベントとなるよう検討していきたい。						
	評価点合計	14 / 18						

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援・農業振興係	事務事業No.	16132
事務事業名	農業振興助成費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要  
農業振興に係る総合的な支援事業

事業の目的  
農業振興のための農業者への支援

事業内容  
委託料：学童農園設置・栽培技術モデル展示ほ設置  
負担金：農業共済関係・農業振興協議会・農業技術者連絡協議会  
補助金：経営所得安定対策事務費・農作業受託体制強化支援・環境保全型農業への支援・被災農業者向け育成支援  
青年就農給付金・機構集積協力金・6次産業化推進事業整備補助金

事業費	財源内訳	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費（決算額）	18,386 千円	48,723 千円	88,790 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	5,755 千円	36,866 千円	66,252 千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	12,631 千円	11,857 千円	22,538 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 補助金交付対象者	人	52	52	91	65	140.0%	70
	②							
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果								
（指標 ）補助金により農業の機械作業受託体制の強化や環境保全型農業が推進された。経営所得安定対策については適切な事務処理により交付がなされた。26年度は被災農業者のための補助金等もあり、受給者が例年に比べ増加。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等  
 農業者戸別所得補償制度が22年からモデル事業として実施され翌年から本格実施。その後経営所得安定対策へと移行した。また、24年度より青年就農給付金、26年度より機構集積協力金など新規就農、農地集積に対する新しい制度もできた。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	2	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	国の補助制度は毎年変更されてくるので、これに対応しながら市単独の助成制度で補完することにより農業振興を図る。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16133
事務事業名	農業経営基盤強化推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

**事業の概要**  
認定農業者が農業経営基盤強化資金等の借入れに係る利子への補助事業

**事業の目的**  
農地取得を含む施設整備、長期運転資金等の借入利子の負担を軽減し、農業経営の改善を図る。

**事業内容**  
農業経営基盤強化資金（スーパーL）と農業近代化資金の融資残額に対して一定の率を乗じて補助金額を決定する。市と県の負担割合は1/2である。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,066千円	961千円	596千円
	国庫支出金			
	県支出金	493千円	411千円	284千円
	起債			
	その他財源			
	一般財源	573千円	550千円	312千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	スーパーL助成件数	件	11	10	8	8	100.0%	8
②	近代化利子補給件数	件	10	12	11	11	100.0%	10
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—

2. 数値で表せない効果  
（指標 ）利子補給や助成による設備投資を支援することで経営規模拡大・経営の安定が図られた。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	低い	低い	低い	一部重複	普通	改善の余地あり
点数	1	1	1	2	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	縮小	県は平成26年度から新規分については助成を廃止。市も同様に新規分より廃止した。 理由：スーパーLに関しては人・農地プラン関連で5年間無利子となることや助成期間が非常に長期になることから補助金として適さない。また、金融機関の金利の低下などがあるため。				
	評価点合計	9	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16134		
事務事業名	農地流動化推進事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大田市農地流動化担い手育成奨励金交付要綱	

**事業の概要**  
 農業の担い手である認定農業者への農地集積に対し、集積した面積に応じて奨励金を交付。

**事業の目的**  
 認定農業者へ農地集積することにより、農地流動化を推進し、農地の有効利用と担い手農家を育成するため、農業経営の規模拡大を図りやすくし、効率的・安定的な農業経営を目指す。

**事業内容**  
 新規に農地の利用権の設定を受けた認定農業者に面積に応じて奨励金を交付する。10a当たり6,000円（10a未満は10a当たり8,000円）

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,509千円	2,297千円	1,908千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,509千円	2,297千円	1,908千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	奨励金交付件数	件	25	24	26	25	104.0%	26
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	流動化面積	a	3,415	2,903	2,296	3,300	69.6%	2,500
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い
点数	3	2	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	国の規模拡大加算事業が25年度で終了したため、引き続き担い手である認定農業者の規模拡大を支援するため本事業を継続する。 評価点合計 17 / 18			

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16136		
事務事業名	中山間地域等直接支払事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施 策 目 標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	13	年	～	平成	26	年
根拠法令・要綱等 大町市中山間地域等直接支払事業補助金交付要綱							

**事業の概要**  
 農業生産条件が不利で耕作放棄のおそれ大きい中山間地域で、市と協定を結んで共同作業等を行う集落に交付金を交付する事業

**事業の目的**  
 中山間地域において農地の持つ国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進を図り、耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続的な農業生産活動の維持を目指す。

**事業内容**  
 法指定： 国1/2、県1/4、市1/4負担 八坂地区（8集落）、美麻地区（5集落）  
 特認： 国1/3、県1/3、市1/3負担 大町地区（4集落）

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	11,859 千円	12,194 千円	12,239 千円
	国庫支出金			
	県支出金	8,375 千円	8,603 千円	8,628 千円
	起債			
	その他財源			
	一般財源	3,484 千円	3,591 千円	3,611 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 実施団体数	集落数	17	17	17	17	100.0%	17
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 実施面積	a	8,086	8,086	8,106	8,090	100.2%	8,200
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標 )							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	第3期対策（平成22年度から平成26年度まで）が終了し、平成27年度より第4期対策へ移行する。耕作放棄地の解消や農地の多面的機能の確保と増進を図るため、この事業を継続したい。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	農林水産 課	農業推進支援 係	事務事業No.	16138
事務事業名	大町市21農業推進支援センター事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

**事業の概要**  
 JA、長野県、関東農政局松本地域センターなどと連携を取ながら、大町市地域農業再生協議会の事務局として、農政政策の推進を図る。

**事業の目的**  
 需要に即応した米づくりや、転作水田を活用した作物の生産振興に努めている。

**事業内容**  
 ・米の需給調整の実施を行い、米政策における経営所得安定対策の推進や、地域の特性に応じた水田農業の仕組みづくりに取り組んでいる。また、地域の担い手の育成や集落営農組織の活動支援をおこなっている。  
 ・農地中間管理事業について、平成26年度から実施。

事業費	財源内訳	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費（決算額）	4,959 千円	4,818 千円	4,847 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		4,959 千円	4,818 千円	4,847 千円	

活動指標	指標名	単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （%）	次年度（H27） 目標値
	① 経営所得安定対策交付申請	回	1	1	1	1	100.0%	2
	②							
	③							

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	① 経営所得安定対策交付申請	件	1,275	1,223	1,175	1,215	96.7%	1,100
	② 農地中間管理機構申請数	件			42	50	84.0%	20
	③							
2. 数値で表せない効果 （指標）								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	引き続き、国や県などの補助事業の活用を図りながら、地域農業を守る体制を維持していく。					
	評価点合計						

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16139
事務事業名	遊休農地荒廃防止事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 農業等総合振興支援事業補助金交付要綱					

**事業の概要**  
遊休農地の荒廃化を防止し、農地の有効利用転換を図るための事業に対して補助金を交付する。

**事業の目的**  
農業生産に対する障害及び景観悪化の要因となる遊休農地の解消を目指す。

**事業内容**  
生産団体や農業コミュニティ組織が遊休農地の解消及び維持管理を行うための経費に対して3/4以内（7万円/10a上限）の補助金を交付する。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	270千円	760千円	675千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	270千円	760千円	675千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	取組数	件	1	2	3	3	100.0%	4
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	面積	m <sup>2</sup>	5,404	12,135	15,731	20,000	78.7%	20,000
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	遊休農地として荒廃化が進んでいた箇所もこの事業により農地に還元され、また、景観作物の作付などにより地域の環境保全に成果を上げている。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	161310
事務事業名	園芸振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

**事業の概要**  
りんごやワインぶどうなどの園芸作物の生産拡大を図る。

**事業の目的**  
りんごやワインぶどうなど地域振興作物の作付面積拡大を図るため、農家の取組み支援や補助要綱に定める園芸に関する補助支援を行う。

**事業内容**  
地域振興作物の生産振興を図るため、共同による機械導入に対する支援、また果樹の新改植に要する経費を補助することにより、生産拡大を図っている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,840 千円	2,306 千円	3,937 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,840 千円	2,306 千円	3,937 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	リンゴオーナーキャラバン	回	1	1	1	1	100.0%	1
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	果樹改新植事業	a	88	60	230	100	230.0%	100
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	3	2	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	園芸作物の振興は、転作作物であるソバ・ムギ・大豆と併せて市の農業振興施策の重要なテーマとなっている。県の特産品となっているリンゴにはじまり、ワインぶどう、ブルーベリー、アスパラガス等市推奨作目としても振興しており、今後面積拡大や団地化等を念頭に取り込み、地域の特産品としてだけでなく、農業所得の向上の柱として生産拡大を図っていく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	農林水産 課	庶務・林業振興 係	事務事業No.	161311
事務事業名	有害鳥獣対策事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	59 頁	個別計画	鳥獣対策の推進		59 頁
事業期間	平成 24 年 ~	平成 28 年	根拠法令・要綱等 鳥獣の保護及び管理に関する法律		

事業の概要  
野生鳥獣による農作物被害防止対策

事業の目的  
熊、猿、鹿、猪、カラス等の鳥獣被害の防止

事業内容  
 ○野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵設置、緩衝帯の整備等による対策強化  
 ○県特定鳥獣保護管理計画等に基づく個体数調整  
 ○モンキードッグの育成  
 ○侵入防止柵設置や追い払い指導のための鳥獣被害対策リーダーの育成  
 ○大町総合射撃場の整備支援

事業費	年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	総事業費（決算額）		13,868 千円	9,329 千円	32,603 千円
	財源内訳	国庫支出金	4,101 千円	209 千円	250 千円
		県支出金	100 千円	100 千円	162 千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		9,667 千円	9,020 千円	32,191 千円	

活動指標			平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 有害鳥獣駆除委託（猟友会）	支部	6	6	6	6	100.0%	6
	② 農作物被害調査実施	支部	1	1	1	1	100.0%	1
③ 侵入防止柵設置補助金	千円	1,675	1,805	1,894	2,800	67.6%	2,800	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 有害鳥獣駆除数	頭、匹、羽	534	637	540	2,850	18.9%	3,035
	② 農作物被害額	千円	38,461	16,137	11,768	13,000	90.5%	10,000
	③ 侵入防止柵設置距離	メートル	1,829	1,789	3,768	2,000	188.4%	2,000
2. 数値で表せない効果 (指標 )								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である
	点数	3	3	3	2	2	3
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	拡大	市単独補助事業の他、大町市有害鳥獣被害防止対策協議会、大北有害鳥獣被害防止対策協議会が事業主体となり、国の交付金事業を活用した侵入防止柵の設置が平成23年度から始まり、毎年8km程度設置している。このため、農作物被害額は減少傾向にある。今後も、侵入防止柵の設置を推進し農業被害軽減に努めるほか、基本的事項ではあるが、誘因物の除去など環境整備の周知を徹底したい。近年個体数が増え、今後加害増が予想されているシカについては、個体数調整を積極的に進める。なお、有害鳥獣駆除・個体数調整を委託している市内6支部の猟友会員の高齢化が進んでおり、新規銃猟免許取得者への補助も行っているが、毎年10名程度で推移している。今後も啓発に努め、若い世代の猟友会員の確保を行うことに努める。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	161320
事務事業名	多面的機能支払事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画		頁
事業期間	平成26年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律

**事業の概要**  
 農業・農村は、国土保全・水源涵養・自然環境保全・景観形成等多くの機能（多面的機能）を有しており、多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援し地域資源の適切な保全管理を推進する。

**事業の目的**  
 農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同で取り組む地域活動や、地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動に対して支援。

**事業内容**  
 農地維持支払 田3,000円 畑2,000円（10aあたり）  
 資源向上支払（共同活動・5年未経過等） 田2,400円 畑1,440円（10aあたり）  
 （共同活動・5年未経過等） 田1,800円 畑1,080円（10aあたり）  
 （長寿命化） 田4,400円 畑2,000円（10aあたり）  
 26年度は長野県農地・水・環境保全向上対策協議会が事業主体となり、活動組織へ交付金を交付。市は負担金支払

事業費	財源内訳	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費（決算額）	千円	千円	88,688 千円
		国庫支出金	千円	千円	44,344 千円
		県支出金	千円	千円	22,172 千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	22,172 千円	

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	実施団体数	活動組織数			16	—	—	29
	②								
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	実施面積	ha			1,121	—	—	1,300
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	2	3	3	3	3
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	拡大 評価点合計 17 / 18	農業振興地域農用地区域が対象地域となっているが、市内全域で取り組んでいないので、全地域で取り組めるよう事業推進・拡大を図る。					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16141
事務事業名	畜産振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 4
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画	畜産の振興	58 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要  
牛、豚、鶏の生産農家の連携と飼育環境向上によるブランド化の推進

事業の目的  
畜産の振興

事業内容  
○鹿島槍黒沢高原管理業務 乳牛の放牧事業を安全かつ円滑に行うため、鹿島槍スキー場ゲレンデの一部を土地使用賃借契約により、大町市が牧場用地として借り受け、5月～10月の期間公共牧場として使用。管理運営を大町市酪農組合に委託している。  
○酪農家の労力軽減及び良質な乳用牛を育成するため、期間放牧、衛生検査等を実施。  
○夏季の観光客滞留に貢献。

事業費	財源内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費（決算額）	3,000千円	3,000千円	3,000千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	3,000千円	3,000千円	3,000千円	

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	牧場放牧期間	日	115	126	135	130	103.8%	130
	②	衛生検査	回	3	3	3	3	100.0%	3
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	牧場放牧頭数	頭	29	22	24	25	96.0%	25
	②	衛生検査頭数	頭	29	22	24	25	96.0%	25
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	2	3	2	3
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	酪農を取り巻く環境は、飼料、燃料費の高騰等により年々厳しくなっており、酪農組合のうち平成24年末に1軒廃業し現在市内3軒となっている。このような状況の中、公共牧場開設による放牧は、酪農家の負担軽減、良質な乳用牛を育成するために必要な事業である。また、高原の牧場として観光面での寄与もある。しかし、放牧頭数の減少傾向が続いていることと、牧場管理委託が10年を超え酪農組合の負担が大きいとの声もあり、今後の方向性についての検討が必要と考える。					
	評価点合計	14 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16142
事務事業名	水産振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 4
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	自然環境を活用した水産業の振興	61 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

**事業の概要**  
市内3漁業協同組合と連携し、ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚の駆除を進め、仁科三湖、農具川の本来の生態系を維持し、水産業の振興を図る。

**事業の目的**  
内水面水産業の振興

**事業内容**  
 ○ブラックバス等外来魚駆除活動及び対策の検討  
 ○青木湖、木崎湖、北安中部漁協に対し、ブラックバス捕獲に対して手数料を支払い  
 ○青木湖漁協に対し、ブルーギル捕獲手数料  
 ○大北漁連主催のブラックバス釣り大会に負担金

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,016 千円	1,013 千円	997 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	1,016 千円	1,013 千円	997 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① ブラックバス釣り大会開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① ブラックバス釣り大会参加者数	人	60	56	90	80	112.5%	80
② ブラックバス釣り大会釣果	kg	24.8	4.27	10.26	30	34.2%	30
③							
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	外来魚の駆除は、全国の湖沼や河川で問題となっている。在来種の保護、生物多様性の維持のため事業の継続は必要である。				
	評価点合計	14 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16151		
事務事業名	たかね市民農園管理費			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施策目標	農地集約化と特色ある農業の転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大町市民農園設置及び管理に関する条例	

**事業の概要**  
 特定農地貸付け法による市民農園の開園及び貸付け業務。借り手のない区画については、雑草等の借り手の妨げにもなるため、草刈り等の農地維持管理業務。

**事業の目的**  
 小面積の農地を利用して野菜や花を育て、畑作物の栽培体験をし、生きがいづくりや体験学習の活動を通して、潤いのある農園づくりを目指す。

**事業内容**  
 借受けた農地(6,597㎡)を希望者に貸付ける。81区画3,869㎡。これとは別に教育ファーム事業農地約400㎡。教育ファーム事業「たのしい野菜作り教室」の開催(全14回)。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費(決算額)	287千円	350千円	322千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	287千円	350千円	322千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	野菜作り教室開催	回	14	14	14	14	100.0%	14
②	野菜作り教室参加者	世帯	23	28	27	28	96.4%	28
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	貸付け区画数	区画	77	68	65	75	86.7%	75
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	2	2	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	空き区画がかなり目立ってきているが、農業未経験の若者や第二の人生プランとして団塊世代のニーズはあり、当分続くものと考えている。よって現状維持で継続したい。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	農林水産 課	庶務・林業振興 係	事務事業No.	16312
事務事業名	林業振興一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	森林・林業とのふれあい・豊かで多様な森林の育成	60 頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

**事業の概要**  
 みどりのふれあい促進、緑教育の推進及び木質バイオマスエネルギー推進の為にペレットストーブ、ボイラーに対する助成と健全な森林育成のための間伐の促進を行う。

**事業の目的**  
 自然の役割、森林を守り育てる必要性などを学ぶ「みどりの教育」の推進による郷土愛の育成を図る。  
 木質バイオマスエネルギーの推進。  
 間伐等適正な森林施業への支援。

**事業内容**  
 ○植樹祭、育樹祭、森林体験を通じた森林やみどりとふれあい促進  
 ○みどりの少年団活動の森林体験事業（植樹祭、育樹再等）への応援  
 ○姉妹都市立川市の森林保全隊への協力  
 ○ペレットストーブ、ボイラーの購入補助（1台10万円を限度）  
 ○民有林における除間伐の促進を図るため、森林所有者等が行う間伐等に要する経費の負担軽減を図るための補助金の嵩上げを行う（査定事業費の5%以内）。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,893 千円	2,064 千円	3,582 千円
	国庫支出金	3,541 千円	798 千円	3,413 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	96 千円
	一般財源	2,352 千円	1,266 千円	73 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	ペレットストーブへの補助金交付	1	1	1	2	50.0%	2
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	みどりの少年団の植樹祭等への参加	2	2	2	2	100.0%	2
②	間伐実施面積	384	50	85	280	30.4%	250
③							
2. 数値で表せない効果		(指標 )					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	拡大	みどり・森林と触れ合う機会の少ない子供たちに、植樹祭等を通じてのふれあいは必要なことである。今後は「木のぬくもりプレゼント」として1歳児へ積木を配布する木育推進を新たに実施していきたい。木の玩具や薪などの需要が高まれば、地元広葉樹の間伐促進にも繋がり、木材産業の活性化へとなることを期待したい。国の補助要綱で一定量の間伐材の搬出が義務付けられているが、本市には急傾斜地など困難な場所が多く、施業の集約化、団地化を進め、搬出が可能となるように取り組む必要がある。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16313
事務事業名	市有林管理育成事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	豊かで多様な森林の育成	60 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要  
公共の財産である市有林について、下刈り、除間伐等適切な保育を実施する。

事業の目的  
市有林の健全育成のため

事業内容  
公共の財産である市有林について、下刈り、除間伐等適切な保育を実施する。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	128 千円	1,341 千円	2,587 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	128 千円	1,341 千円	2,587 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	森林総合研究所分（マムシ平）	ha	5	5	5	100.0%	5
②	その他市有林	ha	0.5	0.5	0.5	16.7%	3
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	下刈り等保育実施面積	ha	0.5	5	5.5	8	68.8%	8
②								
③								
2. 数値で表せない効果								
(指標 )								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	市有林の健全育成のために必要な事業であるが、森林総合研究所と分収契約をしているマムシ平以外の市有林整備については、市単費で行っている。より適正な事業推進が必要である。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16315
事務事業名	森林整備地域活動助成事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	豊かで多様な森林の育成	60 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	森林整備地域活動支援事業
事業の目的	地域でまとまりのある森林整備協議会を立ち上げ、林業事業者と契約し森林整備を進めたものに対する助成。
事業内容	森林経営計画策定、施業の集約化、作業路網の整備に対して補助金を交付する（国補助3/4）。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	16,193 千円	16,717 千円	1,567 千円
	国庫支出金	12,415 千円	12,538 千円	1,175 千円
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	3,778 千円	4,179 千円	392 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 森林経営計画作成	ha	163	246	26.13	230	11.4%	230
② 施業集約化促進	ha	190	245	10	200	5.0%	200
③ 作業路網の改良	ha	1,810			—	—	

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 集約化による事業の推進	団地	24	15	3	24	12.5%	24
②							
③							
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	木材価格の低迷、安価な外材の輸入等、所有者の森林整備に対する意欲は低下している。森林の荒廃は、森林が持つ多種多様な機能の低下につながり、農作物被害をもたらす有害鳥獣の棲家となる恐れもある。現在、国庫補助要綱では、大きな面積を集約し団地化（一つの林班単位）にする必要がある。不在地主の増加等で森林所有者全員の承諾を得るのが困難な場合もあり、立ち上げる協議会の負担がある。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16316
事務事業名	松林健全化推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	豊かで多様な森林の育成	60 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要  
松くい虫被害木の伐倒、燻蒸処理等の適正処理を行う。

事業の目的  
松くい虫被害拡大防止のため、パトロール、枯損木の速やかな適正処理

事業内容  
松くい虫被害拡大防止のため、パトロール、枯損木の速やかな適正処理

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,768 千円	14,490 千円	16,690 千円
	国庫支出金	3,280 千円	8,019 千円	9,637 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,488 千円	6,471 千円	7,053 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	伐倒処理	m <sup>3</sup>	250	530	577	600	96.2%	600
②	空中散布	ha	3	3	3	3	100.0%	3
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	アカマツ伐倒駆除	m <sup>3</sup>	250	420	650	600	108.3%	600
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	拡大	当市は、社、八坂地区が被害地域に指定され、全量駆除を目標に事業を実施しているが、市に隣接している地域の駆除が進んでいないこともあり、毎年発生が進んでいる。また、近年は大町地区や河川敷でも被害が確認されており、県や近隣市村との連携を図り、森林によっては松から広葉樹などへの樹種転換も視野に入れ、より効果的な駆除・被害防止方策を早急に実施してゆく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16317
事務事業名	治山事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理体制の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画	災害に強いまちづくりの推進	82 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

**事業の概要**  
関係機関との連携による危険個所の把握と、治山事業の推進。

**事業の目的**  
国公共治山事業、県単治山事業個所の要望と、小規模な治山関連工事を行い、土砂災害防止を図る。

**事業内容**  
小規模な治山関連修繕工事

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	646千円	982千円	498千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	646千円	982千円	498千円

活動指標		平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	小規模修繕箇所調査	1	1	1	1	100.0%	1
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	修繕工事実施箇所	2	2	1	3	33.3%	3
②							
③							
2. 数値で表せない効果							
(指標 )							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	高い	普通	重複なし	高い
点数	2	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	国、県の治山工事には取り上げられない小規模な修繕工事は、関係する市民の安全を守るために必要である。			
	評価点合計	16	18			